

令和6年度第2回滝沢市水道水源保護審議会議事録

I 日 時 令和6年12月20日（金）13時30分～16時25分

II 場 所 滝沢市役所分庁舎2階 第6会議室

III 出席者 水道水源保護審議会委員 出席6名

【滝沢市水道水源保護審議会委員】

山田一裕委員、山口孝委員、齋藤誠司委員、田村武委員、小池倫子委員、
八重樫節夫委員

（※欠席3名 荒屋貢委員、佐々木里美委員、菱田廣士委員）

【滝沢市】

滝沢市長 武田哲

滝沢市上下水道部長 及川竜悦

施設課 課長 長谷川唯倫、総括主査 林野和恵、副主幹 高橋利昌

経営課 総括主査 高橋竜也、主任主査 田村幸子、

主査 須川裕子、主査 佐藤克也

○傍聴

【岩手県立大学】

総合政策学部教授 辻盛生

IV 次 第

1 開会（13時30分）

滝沢市長より開会あいさつ

◇ あいさつ終了後、同会場にて諮問書の提出。

【諮問】「滝沢市水道水源保護条例における水道水源保護区域の変更」について、滝沢市長から滝沢市水道水源保護審議会会長に対し諮問書の手交より実施する。

◇ 手交後、市長は用務都合により一旦退席する。

2 議事

① 山田会長（事務局より進行引継ぎ）

② 議事録署名人の指名

会長より、議事録署名人に田村武委員及び八重樫節夫委員を指名した。

- ③ 「滝沢市上下水道事業経営審議会運営規程第6条」に準じ、本日の会議を公開で行うものとし、傍聴者の入場を認める。

(1) 諮問事項

- ① 滝沢市水道水源保護条例における水道水源保護区域の変更について

【高橋副主幹】今回の諮問は、第1回滝沢市水道水源保護審議会においてあらかじめ報告しました内容と概ね同様となっています。

令和5年11月に柳沢取水ポンプ場受変電設備等更新工事が完成し、非常用発電設備の更新が完了しました。これにより柳沢配水系の一日平均配水量6,000m³/日を確認できる見込みとなり、諸葛川を水源とする柳沢低区浄水場の浄水処理を令和6年度末をもって完全に停止いたします。

これに伴い、滝沢市水道水源保護条例における水道水源保護区域の変更が必要となることから、滝沢市水道水源保護条例第6条の規定に基づき、第2回滝沢市水道水源保護審議会に諮問するものです。

(水道水源保護区域の変更する具体的な位置については、資料NO.3変更前及びNO.5変更後の区域等の指定図をもって説明。)

【山田会長】滝沢市は、従来から表流水いわゆる河川水を水源とした浄水と、地下水源を利用した浄水の二本立てで水道水を供給してきたところではありますが、徐々に地下水源の比率を高めてきています。

この背景のひとつには、浄水を作る過程におけるコストやシステム上のコスト的な問題もあります。また、周辺市町村との広域連携が進められていて、万が一、地下水源に何らかの不具合があったとしても、周辺の事業体と相互協力し合いながら賄える目途が立っているということが言えます。

このことから、今回の諸葛川を水源とする河川水からの浄水が地下水へと移行することによるサービスの低下はないと見込まれます。

地下水比率はさらに高くなっていますが、安全性という面でも保証はされているという認識をいただいて、水源保護区域の変更及び柳沢低区浄水場の浄水処理の停止についてはご理解をいただきたい。

- ◇ 以上、諮問事項についての質疑等はなかったことから、諮問事項①「滝沢市水道水源保護条例における水道水源保護区域の変更について」異議なしとして終了する。

(1) 審議事項

- ① 滝沢市水道水源保護条例における水道水源保護区域の変更に関する答申(案)について

【長谷川課長】水道水源保護区域の変更については、前回第1回の審議会で報告事項「水道水源保護区域の変更について」として審議委員の皆様からはご意見を頂戴したところであり、本日諮問事項として審議いただきました。本日の審議としては答申案について説明したいと考えております。

【山田会長】本日諮問を受けて答申案について審議する内容で、通常でしたら日にちを分けて答申については後日とする場合が多いわけですがけれども、審議委員の皆様には、すでに資料を提供し内容についてはご確認いただいているものです。本日は答申案をまとめて市長にお返ししたいと考えています。

【高橋副主幹】資料はNO, 6をご覧ください。本日、滝沢市長より「滝沢市水道水源保護条例における水道水源保護区域の変更について」諮問を受けまして、答申とする内容の案について説明します。

説明の前に資料の修正がありますので確認願います。表紙めくった答申文中の12月20日付け文書番号は、本日諮問いただいた文書番号の滝水施第1209003号に修正いたします。また、2枚めくっていただいて、「2付帯意見」の「(1) 水源環境の保全について」の文中四つ目の段落にある「将来向けて」を「将来に向けて」に修正いたします。

それでは、答申(案)の説明をいたします。

初めに1(1) 水道水源保護区域の変更について記載しています。

令和5年度の上下水道事業経営審議会において、これまでリスクの分散の観点から河川水源と地下水源を併用し続けることとしてきましたが、高コストであるため、将来の財政を熟慮した末、諸葛川水源については廃止するよう提言されています。

また、安定的な非常用発電設備の整備が完成し、柳沢配水系の一日平均配水量を確保できる見込みが立ったことから、高コストが懸念されていた柳沢低区浄水場の諸葛川からの取水及び浄水処理を停止することで、コストの削減が期待できること。諸葛川水源の取水及び浄水処理停止に伴って、水道水源保護条例における河川水源流域の縮小と水道水源保護区域の変更は妥当であることを記載し、水源環境について今後も継続して保全に努めてもらうよう付した内容としています。

次に、2(1) 付帯意見として水源環境の保全について記載しています。

水道は最も重要なライフラインとしてあらゆるリスクに対応した施設整備を推進すべきであり、安定供給を目指し水源間の相互融通が重要であること。

環境保全は水道水源保護区域に限ったものではなく、環境保全基本条例などに基づいた滝沢市全体の取り組みによって守られるものであって、関係機関との情報共有と連携を図りながら、監視体制の強化を強く望む内容としています。

また、将来の水源環境に影響を及ぼすリスクを未然に防ぐためにも、地下水源周辺の土地所有者との良好な関係を保ち、必要に応じて用地取得にも取り組めるよう、財源の確保などの対策を検討する内容を付しています。

○ 審議事項についての質疑応答は以下の通り。

【八重樫委員】水源環境について、今日の昼に東京のアメリカ軍横田基地から有害性が指摘されている「PFOS」を含む水が流出したとみられる問題で、防衛省などが基地に立ち入り、現場を確認したとのニュースがありました。

滝沢市には陸上自衛隊岩手駐屯地岩手山演習場がありますけれども、市議会

でもこれらに関する質問があったようですので、引き続き監視の強化と継続をお願いしたい。

【山田会長】内容の変更ではなく、意見としての発言でよろしいでしょうか。

【八重樫委員】意見です。

【山田会長】ほかに答申（案）について内容の修正・訂正・追記などあれば発言をお願いします。

【齋藤副会長】諸葛川水源について廃止するよう提言したことに対して、取水及び浄水処理を停止するという表現になっていますが、これはまだ廃止には至らないということでしょうか。

【長谷川課長】諸葛川からの取水と浄水処理は完全に停止しますが、地下水へ切り替えた後も、既存の配水池は継続して使用し、水質監視のための機器類は残して運用しますので、柳沢低区浄水場全体の完全に撤去廃止とはならないことから、今回停止という表現として、廃止とは使い分けをいたしました。

【齋藤副会長】停止という表現だったので、将来的に再開できるように感じましたので確認の意味です。

【山田会長】文言の修正や内容の変更ではないということでしょうか。

【齋藤副会長】修正・変更はありません。

【山田会長】ほかに答申（案）について内容の修正等がなければ、先ほどあった文書番号の部分と「将来に向けて」の「に」の部分を追記して修正いたします。修正内容としては軽微なものとして認識しておりますので、後程ご確認はいただきますが、審議を再開することではなく、このまま答申として文書作成に入ってもよろしいでしょうか。

【全員】異議なし。

【山田会長】ありがとうございます。それでは特に大きな修正点はありませんでしたので、本案を答申書として決定し、滝沢市長に提出したいと思います。

ご異議ありませんでしょうか。

【全員】異議なし。

◇ 以上、滝沢市水道水源保護条例における水道水源保護区域の変更に関する答申（案）について審議を終了する。これにより、令和6年度第2回滝沢市水道水源保護審議会の予定された議事を終了し、進行を事務局へ。

3 その他

【事務局（林野総括主査）】今回決定した答申書につきましては、この後開催される令和6年度第4回滝沢市上下水道事業経営審議会終了後に、この会場で会長より市長へご提出いただきます。

4 閉会（14時12分）

◇ 16時20分、令和6年度第4回滝沢市上下水道事業経営審議会終了後、同会場

にて答申書の提出。

【答申】「滝沢市水道水源保護条例における水道水源保護区域の変更に関する答申」について、滝沢市水道水源保護審議会会長から滝沢市長に対し答申書の手交により実施する。

◇ 以上、本日の日程はすべて終了し、散会した。

この議事録は書記の記載したものであるがその内容が正確であることを証するためにここに署名する。

令和 7年 4月 22日

滝沢市水道水源保護審議会

会 長

山 田 一 裕 

署名委員

田 村 武 

署名委員

八重樫 節夫 